

## 活動内容報告書

団体名		特定非営利活動法人メッシュ・サポート	
直 近 3 か 月 活 動 報 告	2023年 10月 1-31日	ヘリ活動 計21件=現場救急14件・離島転院搬送 7件	飛行機活動 計 3件=帰島搬送 3件・離島転院搬送 0件
	2023年 11月 1-30日	ヘリ活動 計30件=現場救急 8件・離島転院搬送20件・捜索 2件	飛行機活動 計 1件=帰島搬送 0件・離島転院搬送 1件
	2023年 12月 1-31日	ヘリ活動 計23件=現場救急 9件・離島転院搬送14件	飛行機活動 計 0件=帰島搬送 0件・離島転院搬送 0件

2007年6月13日～2023年12月31日までの累計活動件数は2617件 (ヘリ2274件・飛行機343件)

活動風景の写真などを添付してください



名護市から肺血症患者の搬送 (名護市MESHヘリポート)



沖永良部島から大腿骨頸部骨折患者の搬送 (沖永良部空港)

### コメント

■沖繩本島北部医療用ヘリ活動

沖繩緊急時において15分以内の初期治療の可否が救命率に大きく左右します。ドクターヘリは15分以内に医師が現場に駆け付け、救命治療を行える体制構築を目標としています。沖繩県のドクターヘリは浦添市に配備されており、かつ、沖繩県本島の最北端の救命病院は名護市となります。北部救急救助ヘリの運営により、北部地域の救命活動に取り組んでいます。

■琉球諸島医療用飛行機活動

沖繩県では1972年の日本復帰以降、陸上自衛隊および海上保安庁への災害派遣要請による離島急患搬送が開始され、2008年に沖繩県本島にドクターヘリが導入されましたが、先島・大東諸島からの長距離離島における迅速な搬送体制の構築は未だ沖繩県の命題であり、また感染症患者の搬送や、身体的に公的交通手段では帰島できないなどの離島特有の問題も介在しています。改善策として、飛行機を活用した南西諸島全域の医療支援に取り組んでいます。